

二〇二一年度夏期特別展

平塚空襲

その時、それまで、それから

7月16日(金)～9月5日(日)

- 会場：平塚市博物館特別展示室
- 休館日：月曜日(8月9日)(月)は開館。8月10日(火)は休館
- 入館無料
- 開館時間：午前9時～午後5時



平塚市博物館

〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町12-41
TEL 0463(33)5111 <https://www.hirahaku.jp>



1945（昭和20）年7月16日の平塚空襲から75年を過ぎた現在、空襲体験者の高齢化も進み、市民のなかで空襲の記憶が薄れゆく可能性がますます高まっています。一方、平塚市博物館で活動するワーキンググループ「平塚の空襲と戦災を記録する会」の活動は30年を超え、空襲体験者の証言を記録した『炎の証言』も21号を発刊するに至っています。この間、同会の調査研究活動により空襲による被害の実態や空襲時の人々の行動の一端が明らかにされ、さらに、空襲にいたるまで、空襲後における市民生活の動向も明らかにされつつあります。

そこで、本特別展では同会の調査研究成果に加え、館外の研究者のご協力も得て、明らかにされた平塚空襲の実態とその前後の地域の様子や市民生活を紹介いたします。ご来館の皆さまに平和と戦争を考える機会としていただければ幸いです。

展示構成

- I その時—平塚空襲の実相
 - 1 平塚空襲の概要
 - 2 『作戦任務報告書』にみる平塚空襲
 - 3 空襲被害の実相
- II それまで—空襲への道のり
 - 1 軍需の町平塚
 - 2 生活と精神の総力戦
 - 3 戦局の悪化のなかで
 - 4 空襲の激化と本土決戦の構え
- III それから—空襲後のくらし、終戦後のくらし
 - 1 終戦前後
 - 2 終戦後の生活



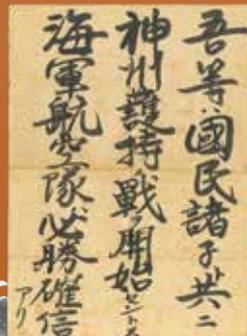
損害評価写真（米国立公文書館蔵 工藤洋三氏提供）



港地区の被災状況復元地図



国民精神総動員実行大講演会（1938（昭和13）年12月）



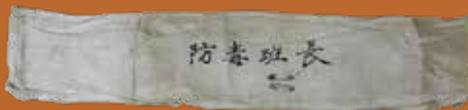
厚木航空隊が撒いた檄文（1945（昭和20）年8月）



闇市で購入した落下傘生地と落下傘用紐



切り取られた教科書



松原地区の警防団の腕章

関連事業

記念講演会「二宮・大磯・平塚における日本軍の本土決戦体制」【申し込み方法】

講師 ■ 市原誠氏（郷土史研究家）
 日時 ■ 7月25日（日）午後1時30分～3時
 定員 ■ 30名 会場 ■ 博物館講堂
 締切 ■ 7月13日（火）
 ※当日消印有効・応募フォームの場合は同日中

各イベントとも、往復はがき、または博物館WEBの応募フォームに行事名・氏名・住所・電話番号を記入してお申し込みください。一申し込みにつき2名まで。応募者多数時は平塚市内在住者を優先し、抽選。
 サイト ■ <https://hirahaku.jp/tokuten/2021Airstrike/>



展示解説会

日時 ■ ① 7月31日（土）午後1時30分～2時30分
 ② 8月22日（日）午後1時30分～2時30分
 定員 ■ 30名 会場 ■ 博物館講堂
 締切 ■ ① 7月20日（火） ② 8月12日（木）
 ※当日消印有効・応募フォームの場合は同日中

交通案内

東海道本線平塚駅下車 ■ 茅ヶ崎側改札北口駅前より車で5分、または徒歩20分
 バス利用の場合 ■ コンフォール平塚前、または美術館入口下車、徒歩3分